

日米関係の再定義（政策提言）（仮訳）

カルコンは、上述の「日米関係の再定義」において議論された政策提言を実施するため、次の具体的な措置を提言し、支援する。そのような具体的な措置を講ずるに際して、カルコンは、成果重視のアプローチが追求され、監視・評価のシステムが導入されるべきことを、併せて提言する。

1. 知的交流

カルコンは、日米両国のシンクタンク及び大学間のネットワークを強化し、二国間関係に関する直近の関心事項のみならず、世界の中での協力と目標の共有を通じて日米同盟を強化する方策について、より深化した活発な対話及び研究が行い得るようにすることを、提言する。

知的対話の現在の状況は、日米間の永続的なパートナーシップに強固な基盤を提供するには不十分である。米国のシンクタンクにおいては、例えば中東、中国等の他の地域・国を扱うアナリストに比べて、日本の政策のアナリストが不足している。日本においては、米国その他の地域・国におけるカウンターパートと意味ある対話を行い得るシンクタンク、政策大学その他の機関の知識人が不足している。カルコンはまた、特に米国の主要教育機関における日本人の学生、大学生及び大学院生の相対的な減少を懸念している。日本が世界に占める地位に相応しい形で、国際舞台において効果的に日本の見解を示すことのできる日本人を増やしていくことを支援することが、早急に必要である。

特に、以下を目的とする具体的な措置が講じられるべきである。

1. 見解を表明するスキルの向上と機会の増加

- (ア) 有望な日本の大学生や若手実務者に、政策に関する議論に参加するために必要なプレゼンテーションスキルと能力を向上させる機会をより多く提供すること
- (イ) 世界における日本及び米国の役割について、米国の専門家とその日本のカウンターパートが議論するためのフォーラムを提供すること
- (ウ) 日米関係の中核的部分を重視しつつ、日米の対話に他国の参加を含めること
- (エ) 学生レベルから中堅管理職レベルまでのそのような議論への参加を奨励すること

2. 米国のシンクタンク及び大学とそれらの日本のカウンターパートとなる機関との間のネットワークの強化

- (ア) とりわけ環境、経済等の機能的課題に取り組み、二国間関係のみならず中国の台頭

等の地域的な課題にも携わる米国及び日本の専門家を集めること

(イ) 米国及び日本のシンクタンク・大学の専門家の間における協議及び共同研究を奨励すること

(ウ) 日米共同の学術及び政策的研究チームとそのプロジェクトを進展させることにより、日本及び米国の知識人のコミュニティの構築に関するイニシアチブを奨励すること

(エ) エネルギー、環境、国際的理解・異文化交流、人権、平和等のグローバルな課題に取り組むため、共通のテーマとして「持続発展教育」に焦点をあてることにより、二国間の交流を進展させること

(オ) 教育、社会、人口学的趨勢及び政策についてのハイレベルの対話を強化すること

(カ) 日本に関する専門家のみならずそれ以外の分野の専門家が日本についての知識を持つ上での、安倍フェローシップ・プログラム、フルブライト奨学金プログラム等のフェローシップ・プログラムの重要性を認識し、そのようなプログラムを強化すること

(キ) 国際交流基金その他の政府又は民間関係機関による資金供与を通じて、これらの目的に関する支援を強化すること

3. 日本や日米関係に関係する事項についての議論に貢献できる地位にある日本及び米国の幅広い分野における優れた人材の発掘及び育成の継続

(ア) 日本に関する知識を身に付けたり、訪日機会を提供すること

(イ) 世界の問題に関する日本の視点について、米国のオピニオンリーダーを教育すること

(ウ) 全米の大学において日本関連の政策研究や芸術、人文及び社会科学を学ぶ次世代の米国人専門家のネットワークを強化し、大学生及び大学院生の間での日本に対する関心を喚起すること

(エ) JET プログラムの成果を活用し、過去の JET 参加者が二国間の対話に貢献することを奨励するため、彼らのネットワークの進展を図ること

(オ) メディア交流の更なる促進 1. ジャパン・ソサエティのメディア・フェローズ・プログラム、東西センターのジャーナリスト・エクステンジ、フルブライト・プログラム・ジャーナリスト・エクステンジ等のプログラムにおいて、日米間の対話に貢献する意思のあるジャーナリスト及び編集者の交流を強化し、相互の国を訪問する機会を彼らに提供すること

2. 安倍フェローシップ等の政策型プログラムのアウトリーチ活動の構成部分として、メディア・フェローシップを導入すること

4. 大学院レベルでの日米間の学生の留学の促進・奨励と両国の経済界、学界における帰国後の学生の経験や習得技術の適正なる認識と活用。

2. 教育交流

カルコンは、語学教育、日本の若者の異文化コミュニケーションスキル、米国の若者の国際感覚に重点を置いたプログラムを通じて、米国民の日本に対する関心、日本国民の米国への関心を、持続的に醸成することを求める。

教育交流は、両国の若者の間において、互いに積極的な関心を持ち合うこと及び世界市民としての責任感を共有することに重点を置くべきである。米国の本分野における責任者は、日本語を学ぶ米国の中等学校の学生数の増加を再現する機会を探求すべきである。学生数は、資格を有する教員の不足、外国語学習重視の見直しその他の理由により、過去数年間減少してきている。

カルコンはまた、日本フルブライト・メモリアル基金のようなイニシアチブを高く評価する。同基金は、日本政府により出資されており、米国人教員を日本に招いている。将来的には、そのようなプログラムは、双方向で実施され得るものであり、学生交流にも拡大され得るものである。

特に、以下を目的とする具体的な措置が講じられるべきである。

1. 双方における国際的なコミュニケーションスキルの向上（特に語学教育を通じて）

（ア）日本における K-12 (初等中等教育段階) レベルの英語教育を充実させること (特に小学校での口語教育に重点的に配慮)

（イ）高校や大学の学生の間でディベート・クラブやその他英語を活発に使える場を通じて、異文化コミュニケーションスキルの向上を支援すること

（ウ）連邦・州及び地方政府の要人に対する一層の働きかけ並びに日本の関係組織の一層の支援（米国における日本語教員のネットワークの充実やトレーニング等の必要な措置の提供）を通じて、米国におけるすべてのレベルでの日本語コースを強化すること

（エ）日米両国における若者の語学教育、異文化教育、教育交流及び国際感覚を充実させること

（オ）「持続発展教育」のテーマに資する学校教員及び学生の交流を充実させること

3. 草の根交流

カルコンは、既存の草の根交流を強固にする一方で、日米が互いの状況について限られた知見しか有していない地域における草の根交流を強化することを求める。

姉妹都市・州間交流やその他の既存の公的又は民間の草の根交流の対象は、これまでは限られたものであった。カルコンは、現状のリソースを十分に活用する一方で、草の根交流への参加者のリンクやよりよい環境を構築し、さらにより大きな交流のフレームワークを創造することを求める。草の根交流の参加者自身が資産であり、その経験を日米草の根交流のネットワークに応用していくことが、探求されるべきである。

特に、以下を目的とする具体的な措置が講じられるべきである。

1. 日米双方における日米協会を強化し、一層の相互交流機会の探求
2. 日系米国人コミュニティの日米交流への参画の強化
3. 米国の中西部、南部、ロッキー山脈等の地域の個人及び組織に対する、日本との交流に参加する一層の機会の提供
4. 米国及び米国の姉妹都市・州が関係する日本における地方及び草の根レベルのプログラムの強化
5. 草の根交流に対する公的及び民間セクターの認識及び支援の増進

4. 芸術・文化交流

カルコンは、日米の芸術・文化交流に関わる営利・非営利両分野の多様なアクター間のネットワーク形成を奨励する。

日本の舞台芸術と造形美術は、最近の例としては、ケネディー・センター・ジャパン・フェスティバルが示しているように、米国民に幅広く支持されてきている。非商業ベースで米国の舞台芸術が日本の観衆の前で演じられる機会は、はるかに限られている。造形美術の分野では、展覧会は、独自に開催される傾向がある。高い価値を持つ国際プログラムは、作品関係国の芸術・文化に深い造詣を持ち、観衆の要求・関心を理解している学芸員、資金的・組織的なコミットメントをしているプレゼンターの間での共同努力を必要とする。造形美術、舞台芸術双方において、日米両国国民に対する展覧会と舞台公演の浸透を促進することが望ましい。

特に、以下を目的とする具体的な措置が講じられるべきである。

1. 日米両国の舞台芸術の学芸員が互いの国の製作プロセス及び舞台芸術のコミュニティに接するための、彼らの間の交流の増進
2. 学生、学者、学芸員及び一般芸術品収集家を含む日米両国の専門家間のネットワークの構築
3. 国際交流基金出資プログラムであるパフォーミング・アーツ・ジャパン（PAJ）に見るよ

うな、学芸員及びプレゼンターのネットワークを活用した展覧会と舞台公演の対象地域の拡大のための方法の探究

5. その他の分野

文化と教育は、カルコンの使命の中核であるが、日米間のより幅広い関係の進展は、文化・教育面での協力を強化する新たな機会をもたらし得るものである。

日米のビジネス・コミュニティは、二国間の包括的な経済連携協定の可能性に、強い関心を示してきている。そのような協定は、教育や文化に関するものも含む、二国間の貿易、投資、技術及び人の流れを増加させるであろう。カルコンは、この日米経済の統合に伴う文化的側面の認識を新たにする上で、1つの役割を果たすことができる。

General Policy Recommendations

CULCON recommends and supports the following concrete measures to implement the policy recommendations discussed above in the executive summary. In pursuing such concrete measures CULCON further recommends that a results-oriented approach be pursued and a system of monitoring and evaluation be put into place.

1. Intellectual Exchanges

CULCON proposes to strengthen networks among think tanks and universities in the two countries, to allow for deeper and more vigorous dialog and research not only on topics of immediate concern to the bilateral relationship, but for ways to strengthen the alliance through cooperation and a mutual sharing of goals in the global arena.

The current state of intellectual dialog is insufficient to provide a solid foundation for an enduring partnership between Japan and the United States. In American think tanks, there is a dearth of Japan policy analysts, compared, for example, to analysts who deal with the Middle East, China, and other parts of the world. In Japan, there is the lack of public intellectuals in think tanks, policy schools, and other institutions who can engage in meaningful dialog with their counterparts in the United States and elsewhere. CULCON also notes with concern the comparative decline of Japanese students, undergraduate and graduate, particularly in leading academic institutions in the United States. There is an urgent need to help develop more Japanese who can present Japan's point of view effectively in international venues, in a manner commensurate with its place in the world.

Specifically, concrete measures should be taken to:

1. Provide for greater development of skills and opportunities to express points of view:
 - a. Offer promising Japanese university students and young professionals greater opportunities to develop their presentational skills and their ability to engage in policy debate;
 - b. Provide forums for discussion between US experts on Japan and their Japanese counterparts on the role of Japan and the United States in the world;
 - c. Include participants from a third country or more in the dialog, while preserving

the essential bilateral core; and

d. Encourage school-level to middle management-level participation in such discussion.

2. Strengthen networks between American think-tanks and universities and their Japanese counterpart institutions:

a. Address, inter alia, functional issues such as the environment and the economy, and bring together US and Japanese experts concerned not only with the bilateral relationship, but also with regional issues such as the rise of China.

b. Encourage consultation and joint research between experts in think-tanks and universities in the United States and Japan.

c. Encourage initiatives to build a community of Japanese and American intellectuals by developing binational academic and policy-oriented research teams and their projects.

d. Develop bilateral exchanges by focusing on "Education for Sustainable Development" as a common theme to address global issues such as energy, environment, international and intercultural understanding, human rights and peace.

e. Reinforce high-level dialogue on educational, social and demographic trends and policies.

f. Recognize the importance of fellowship programs such as the Abe Fellowship Program and the Fulbright Scholarship Program in building expertise on Japan among non-Japan specialists as well as Japan specialists, and seek to reinforce such programs.

g. Strengthen support for these purposes through funding by the Japan Foundation and other relevant institutions in the public and private sectors.

3. Continue to identify and nurture outstanding individuals across a widerange of sectors in Japan and the United States who are positioned to contribute to discourse on topics relating to Japan and to Japan-US relations:

a. Provide them with opportunities to build their knowledge of Japan and to travel there.

b. Educate US opinion leaders about Japan' s perspective on world issues;

c. Strengthen the network of the next generation of American experts in Japan-related policy studies and the arts, humanities and social sciences at universities across the United States; and stimulate interest in Japan on the part of undergraduate and graduate students.

d. Capitalize on the success of the JET program and seek to develop networks among

former JET participants to encourage them to contribute to binational dialog.

e. Further promote Media Exchanges i. Strengthen the exchanges of journalist and editorial writers who seek to contribute to the dialog between Japan and the US in such programs as Japan Society's Media Fellows Program, the East-West Center's journalist exchange and the Fulbright Program journalist exchange, and provide them with opportunities to travel to each other's country;

ii. Introduce a media fellowship component as a part of the outreach efforts of policy-oriented programs such as the Abe Fellowship.

4. Promote and encourage greater study at the graduate level by Japanese students in the United States and US students in Japan. Encourage business and academia in both countries to adequately recognize the experience and deploy the skills of students when they return.

2. Educational Exchanges

CULCON seeks to continue to foster interest in Japan among Americans and interest in the United States among Japanese through programs that focus on language education, cross-cultural communications skills for young Japanese and global awareness for young Americans.

Educational exchanges should place priority on nurturing active interest in each other among Japanese and American youth and instilling a shared sense of responsible global citizenship. Leaders in the field in the United States should look for opportunities to regain momentum for increasing the number of secondary school students studying Japanese in the United States. These numbers have declined for the past several years, due to a shortage of certified teachers, shifts in priorities away from foreign language learning, and other causes.

CULCON also expresses its appreciation towards such initiatives as the Japan Fulbright Memorial Fund, which is funded by the Japanese Government, bringing American teachers to Japan. In future, such program can be implemented on a two-way basis and expanded to student exchanges.

Specifically, concrete measures should be taken to:

1. Improve international communication skills on both sides, particularly through language education.

a. Enhance English language education at the K-12 level in Japan, especially in primary schools, with greater attention to improving oral expression;

b. Help develop cross-cultural communications skills through such means as debate clubs and other venues for using English language actively among high school and university students;

c. Strengthen Japanese language courses at all levels in the United States through greater advocacy directed to federal, state and local leaders and administrators and greater support by Japanese relevant organizations in enhancing the network of Japanese language teachers in the United States and providing training and other necessary measures; and

d. Enhance language education, cross-cultural education, educational exchange and global awareness among youth in Japan and the United States.

e. Enhance exchanges of school teachers and students as these lead to interest in the “Education for Sustainable Development” theme.

3. Grassroots Exchanges

CULCON seeks to solidify existing grassroots exchanges and strengthen those in areas of Japan and the United States that have had limited exposure to the other society.

The reach of sister-city/state exchanges and other existing public and private grassroots exchange activities has been limited so far. CULCON seeks to fully optimize current resources, while at the same time create links and a stimulating environment for grassroots participants and the larger framework of exchanges they work in. They should be considered an asset, and practical applications of their experiences to the network of Japan-US grassroots exchanges should be explored.

Specifically, concrete measures should be taken to:

1. Strengthen Japan-America societies in the United States and America-Japan societies in Japan, and explore opportunities for greater interaction among them.

2. Strengthen the involvement of the Japanese American community in Japan-US exchanges.

3. Provide greater opportunities to individuals and organizations in regions of the United States such as the Midwest, the South and the Rocky Mountains to participate

in exchanges with Japan.

4. Strengthen local and grassroots level programs in Japan that involve the United States and US counterpart sister cities and states.

5. Encourage greater public and private sector recognition and support of grassroots exchanges.

4. Arts and Cultural Exchange

CULCON encourages networking among the diverse actors involved in Japan-US arts and cultural exchanges in both the non-profit and commercial realms.

Japanese performing arts and visual arts have been widely embraced by the American people, as evidenced most recently by the Kennedy Center Japan Festival. Opportunities for American performing arts to be presented to Japanese audiences on a non-commercial basis are more limited. In the area of visual arts, exhibitions tend to be organized independently. International programs of high caliber require the combined efforts of curators who have a deep knowledge of the arts and culture of the relevant country and who understand the needs and interests of the audience they serve and presenters who provide financial and organizational commitments. In both visual and performing arts, it is desirable to facilitate greater outreach of the exhibitions and performances to the public in both countries.

Specifically, concrete measures should be taken to:

1. Promote greater exchanges of curators of the performing arts on both sides, to expose them both to the production processes and the performing arts community of the other country.

2. Create networks among art specialists of both countries, including students, scholars, curators and private art collectors.

3. Explore ways to expand the geographic coverage of exhibitions and performances through mobilizing the networks of curators and presenters, as seen in the Japan Foundation's grant program Performing Arts Japan (PAJ).

5. Other Areas

Culture and education are at the core of CULCON's mission, but new developments in the wider relationship between Japan and the United States may bring new opportunities

to strengthen cultural and educational cooperation.

The business communities of Japan and the United States have expressed their strong interest in the possibility of a comprehensive economic partnership agreement between our two countries. Such an agreement would enhance bilateral flows of trade, investment, technology and people, including those engaged in education and culture. CULCON can play a role in increasing awareness of this cultural dimension of greater bilateral economic integration.